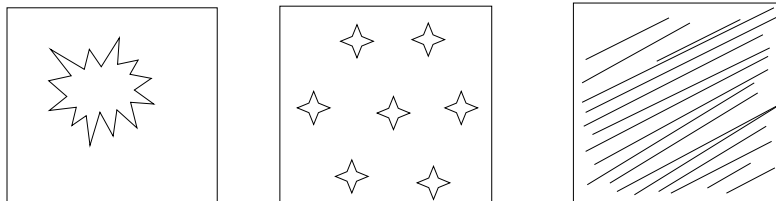


2018年  
1月3週

### 軽装帯

同じ色柄の風呂敷を3枚用意するのは難しいことがあります  
その中である方の例です

110cm四方の木綿の藍染の風呂敷です  
柄がそれぞれ相違しているものを用意しました



これでたれを1枚、胴を2枚作ることができました

\* 風呂敷の写真等を先生に見ていただき可否を確認してから購入しましょう

1月4週

### 糸の地直し

絹糸を使う時に鑊で地直しをしています

鑊を押し付け過ぎて糸がつぶれ風合いがなくなっている場合があります

鑊の重みのみでゆっくり通すようにしましょう

本来、糸は指先でピンピンとしてから使えばいいのですが初心者には難しいため  
当教室では鑊を使うようになりました

鑊は使わず、指先でピンピンできるように練習してみましょう

糸巻きから70~80cm出して切る前にピンピンしてみましょう

2月1週

### 針供養

2月2週

### 名古屋帯の比翼仕立て

名古屋帯のお太鼓の部分は通常一重ですが  
袋帯のように二重太鼓に見せかけた仕立て方をするものを  
名古屋帯の比翼仕立てといえます

格の高い生地・柄の名古屋帯が向いています

### 名古屋帯の鏡仕立て

名古屋帯の胴の部分を開いて仕立てます  
それにより、胴の部分の帯幅を広く調整してしめられるようになります  
背の高い方は胴の部分の幅が狭いと貧弱になってしまうため便利です

2月3週 **糸**

糸には80<sup>針</sup>巻きと40<sup>針</sup>巻きがあります  
長着1枚縫うのに40<sup>針</sup>必要と言われていました

80<sup>針</sup>の糸巻きで長着2枚縫える勘定になります

長着1枚縫うのに1万針縫うといわれています

2月4週 **ホームページ**

3月1週 **運針**

3月2週 **提出物のコメント**

仕上がった作品を提出いただきお返しする際のコメントの紙は  
どうしていますか？  
次回、仕立てる際に指摘されたところを直していくようにするため  
コメントは取っておきましょう

3月3週 **着物警察**

インターネットから派生している言葉で『着物警察』というのを聞いたことが  
ありますか？  
街中で着物を着ている人をいきなり呼び止め、着付け・生地のこと・取り合わせなど  
注意をする人達のことです

着物警察のおかげで着物を着る若い人が減っているという話もあります

着物を着るのにこうしなければいけないという正解はありません  
若い人が着物を着るのを妨げるようなことがあってはなりません

私たち、和裁を勉強している立場ですが温かく見守っていくようにしましょう

4月2週 **通し**

- ① 一つ身・男物 裏地に胴接ぎはありません
- ② 後幅＝肩幅 裾から肩まで同じ幅に仕立てるもの

\* 追いべら 初心者には難しいですが、慣れてきたら  
単衣はへらなしで縫うことができます

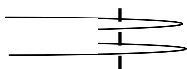
## 4月3週 ぐし髷

留袖の衿・袖・裾・衿下にはぐし髷をします

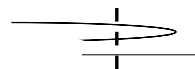
4cmに10針をします

普通はぐしつけは取ってから着ますが、返し針でとめてある場合は取れません

\* 田舎しつけ



\* 通常



着る際には関東ではぐししつけを取り、関西では取らないといわれています

ちりめん・鬼しぼの生地等の場合は小紋でもぐしをします

## 4月4週 肌じゅばんのテキスト

入門時には普通サイズの肌じゅばんを縫います

テキストには衿付きの肌襦袢(ふくよかな方向け)  
レース袖の半じゅばんも載っています

興味がある方は挑戦してみましょう

## 5月1週 浴衣 (1) 染色

浴衣は呉服ではなく、和装小物の範疇に入ります

染色の仕方

チュウセン  
注染

裏表共に同じように染めます (平織のみ)

ナッセン  
捺染

表面のみ染めます

シンセン  
侵染

高級品 (泥染等)

バツケン  
抜染

色を抜く漂白

紅梅は染める際の生地に勾配をつけることからつけられたといわれています

5月2週

## 浴衣 (2) 寸法

反物の幅	普通	38cmくらい
	キングサイズ	40cm位

古いものは35~37cmと幅が狭いので背の高い方や裾の大きい方は購入する際注意しましょう

後幅と前幅の差 = 標準で5cm

衿 = 肩幅 + 後幅

肩幅 = 後幅 + 2~3cm

袖幅 = 肩幅 + 2cm

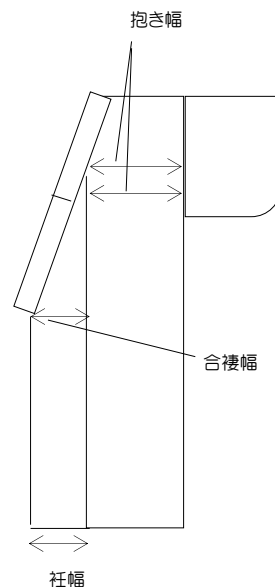
衿巾 = 15cm

合襷幅 = 14cm

抱き幅 当教室では通常抱き幅は使用  
しませんが、胸の大きい方等は  
使うことがあります

合襷幅は衿幅より狭くしてあります  
これは、着た際に自然に襷上がりで  
裾つばまりに着付けできるようにさせる  
ためです

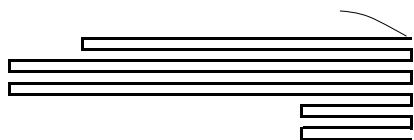
太い縞柄 合襷幅は衿幅より狭くなっています  
太い縞柄の場合、曲がって  
見えてしまうため合襷幅を  
衿幅と同じ寸法にすることが  
あります



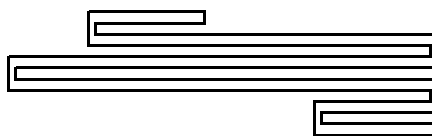
5月3週 浴衣 (3) 見積もり

浴衣の見積もりは、身長のみわかれば可能です

1枚裁ち 高級単衣等



2枚裁ち 浴衣



浴衣の場合、先に柄合わせをしてから中表に2枚重ねた状態で見積もりをします

⇨ 2枚裁ち

裁ち切り袖丈 50+4cm (当教室では一律50cmの上がりです)

裁ち切り身丈 身長+8cm

裁ち切り衿丈 裁ち切り身丈-8cm

6月1週 浴衣 (4) 裁断

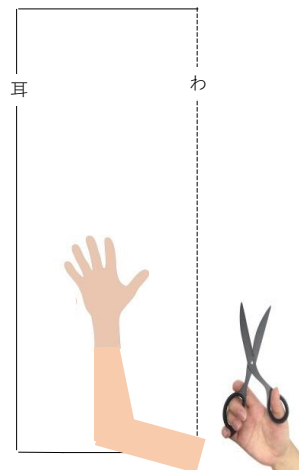
裁断 耳と耳を40~50cm合わせ裁断箇所が直角になるようにします

左手の指先から肘までを使い反物が動かないように押さえながら  
ハサミを横に引くようにして裁断します  
身体の中心を切る箇所のところを持っていき、正面で切るように  
しましょう

衿を幅半分にする時、耳と耳を合わせますが待ち針で押さえるのは  
やめましょう

へらの持ち方

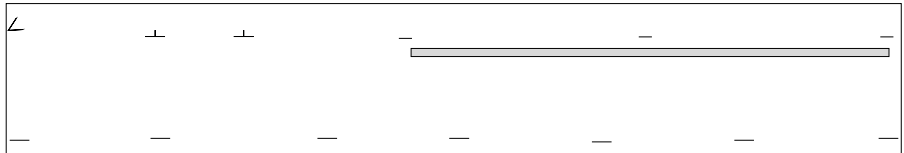
へらの頭を親指で押さえる  
人差し指をへらの窪みにあてる  
鉛筆握りはやめましょう



ものさしの持ち方

左手で物差しを握りこみ、親指を該当の目盛にあて  
人差し指をストッパーとして裁ち板にあてて固定し  
印をします 2cm位

後幅等は4箇所位つけたら、長い物差しを横にあて、10cm間隔位に  
下から印をしていきます



\* 身頃も衽も常に裾から10cmおきに印をしておくといいでしょ  
う 衽をつける際待ち針をする時に同じ位置に印があると  
便利です

6月2週

浴衣 (5) 待ち針

背縫い 衽肩明きから裾へ  
脇縫い・衽付け 裾から上へ

まず、縫い始めと縫い終りに待ち針をする  
衽付け台に右端をとめ、左手で縫い終りを持ちつり合いを確認する  
この時、待ち針の外側を持つ  
つり合いがよければ、真ん中・その又真ん中に待ち針をしていく  
衽付けには50cmと1mに合印があるのでそこを合わせる

縫い始めと縫い終りの真ん中に待ち針をする際、手前のへらの印を刺して  
取り敢えず2枚を止める  
左手を右手のあるところまで移動し、向こう側の生地印を合わせるように  
調整し、根元をしっかり持って小さくすくう  
大きく掬うと縫い目が曲がる原因となる

6月3週 浴衣 (6) 縫い方

背縫い・脇縫い・衽付け

縫い始め 一針目は小さく(2<sup>ミ</sup>) 掬い本返しをするとほつれずに  
きちんと止められます

縫い終り 脇 1cm手前から半返し、すくい返し止め、3cm縫い戻る  
(縫い終りの十文字に3回針を通す)  
衽 縫い終りの十文字で一針返し、3cm縫い戻る  
(玉止めはしない)

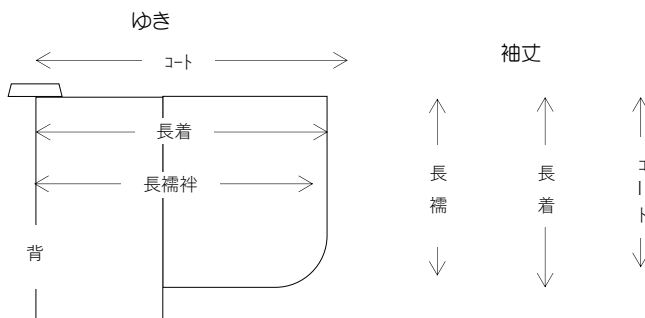
しつけ 一目落とし → しつけ  
二目落とし → 木綿しつけ  
三目落とし → 絹しつけ

縫い始め 玉止め

縫い終り 小さく返して、玉は作らず5<sup>ミ</sup>残して切る  
しつけが攀れてしまった場合に、針めどで縫い終りを緩めて  
調整する

6月4週 寸法

	長襦袢	長着	羽織	コート(道行・道中着)
衿肩明き	-0.5	9.5~10.0	+0.5	+0.5
肩幅	A-0.5	A	同寸	A-0.5
袖幅	B-0.5	B	+0.5	+1.0
ゆき	A+B-1.0	A+B	同寸	A+0.5
袖口	—	C	同寸	同寸
袖付け	D-0.5	D	D+1.0	D+1.0
袖丈	E-0.8	E	E-1.0	E-1.0



- \* 長着を基準として長襦袢・コートの寸法が決まります  
長着の寸法のみ覚えておけばコート等の寸法は割り出せます
- \* 昔は長着の上に、羽織を着て、更にその上にコートを着ていたため  
羽織とコートの寸法を違えています

7月1週 糸こき

運針用布では、80cmの晒を最後の針目まで縫ってからまとめて糸こきしますが

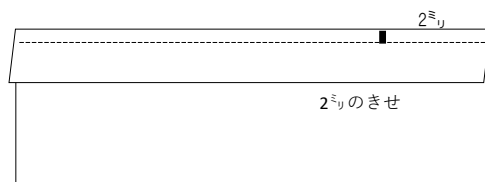
実際に長着等を縫う場合は30cm位縫う毎に糸こきが必要で  
長く縫い過ぎ、まとめて糸こきしても生地のはらは直らず完全には  
糸こきできません

又、爪を立てずに指の腹で3回程度の糸こきが必要です  
特に、背縫いは縫い代が狭いため、爪を立てて糸こきすると  
生地が伸びてしまうため注意しましょう

7月2週 きせ

まず、左手で生地を少し引きぎみに押さえ、平ごてをあてます  
次に、内側の布が浮かないように左手の親指で押さえながらかけていきます  
厚みがある箇所はその分引きます

ゆっくり・じっくり  
かけましょう



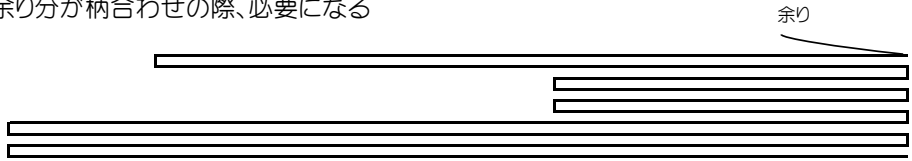
7月4週 浴衣と高級単衣の違い

\* 高級単衣とは、反物が高価で高級品ということではありません  
仕立て方が丁寧で手をかけているということです

	浴衣	高級単衣
	1年限りで 仕立て直すことはない	洗い張りをして仕立て直すため 後のことを考慮して仕立てる
身頃の裁ち切り丈	身長+8cm	身長+15cm
裁ち方	2枚裁ち	1枚裁ち
背縫いと 衿肩明き	2度縫いして 肩当てをつける	背伏せ 力布
縦縫いの始末	耳衿け	折り衿け
衿	ばち衿	広衿
襷先	三角に折る	額縁



反物を身頃・袖・衿に折りたたんで丈が足りるかどうか確認する  
 その際、どの位余りが出るか測っておく  
 その余り分が柄合わせの際、必要になる

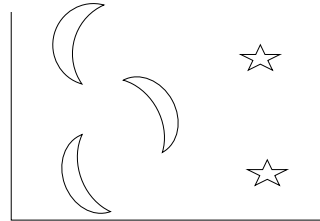


背の柄合わせ

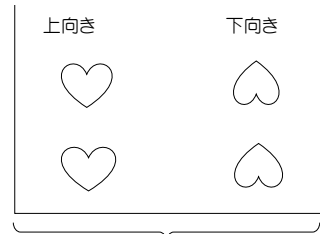
身頃の真ん中2枚(2枚目と3枚目)を引き抜いて背の柄合わせをする

反物の柄行きの特徴をつかんでおく

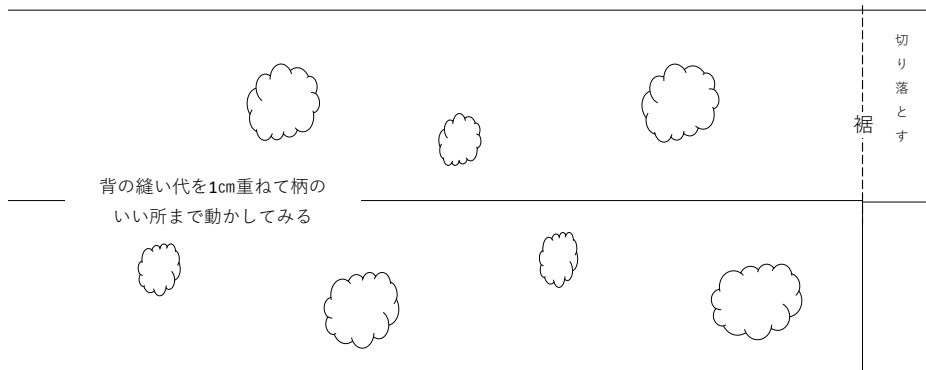
<例> 幅半分が大きい柄で混んでおり  
 反対側は小さい柄でさっぱりしている



<例> 幅半分は柄が上向き  
 反対側は下向き



<例> 幅半分は赤い色で  
 反対側は青い色になっている



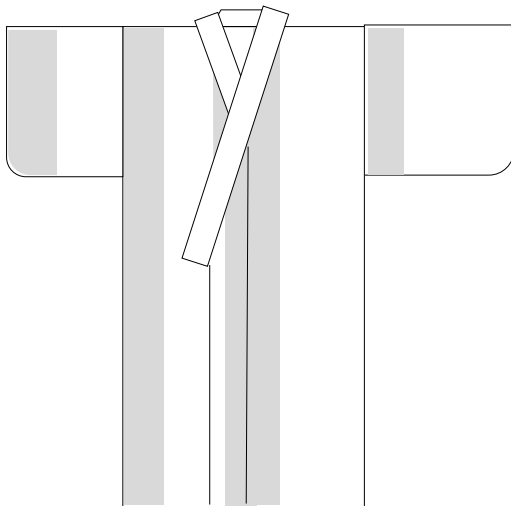
背の柄合わせのポイント

大きい柄が横に並ばないようにする  
 斜めに流れるようにさせる

背の柄合わせが決まったら、袖と衿は切らずにおいておく

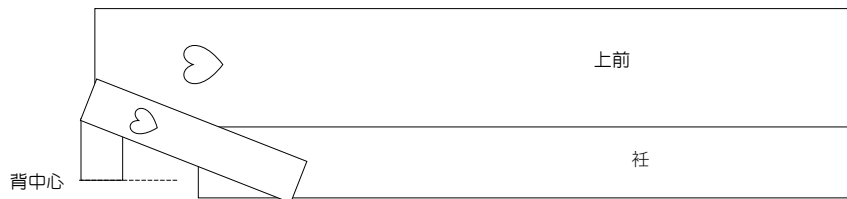
## 追いかけ

反物の幅で大きく二つ位に分かれている柄が向いている



## 共衿

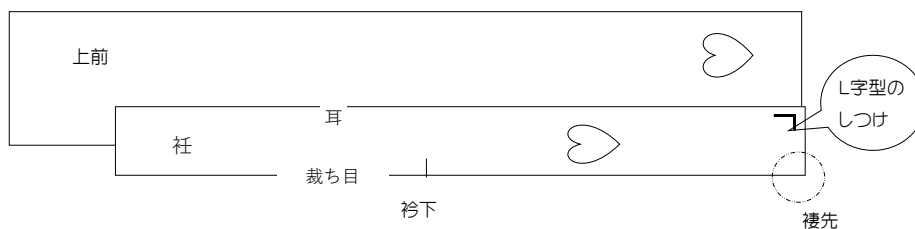
- 共衿と前身頃で大きい柄が並ばないようにさせる
- 前身頃に目立つ柄がある場合は共衿は無地っぽいスッキリとしたところをもってくる
- 柄に向きがあればなるべく上向きになるようにする



背縫いと脇縫いをしたら上前の衿の柄合わせをする

衿の柄合わせのポイント

- ① 上前は膝下のあたり  
衿は膝上のあたりに主な柄がくるよう斜めに流れるようにさせる
- ② 柄に上下がある場合は上向きになるようにさせる
- ③ 袷先には大きい柄はもってこず、無地っぽいところをあてる

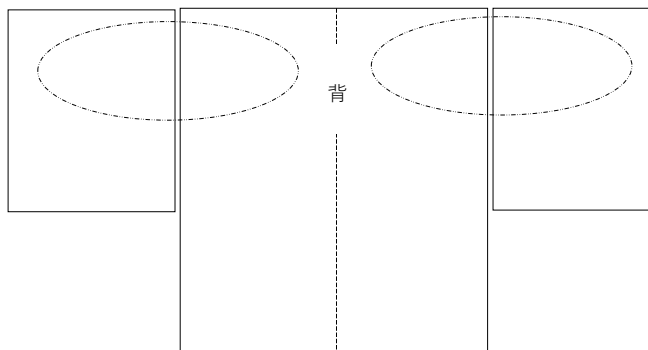


決定したら衿の付け側の裾にL字型にしつけをしておく

袖の柄合わせのポイント

背縫い側を袖口側に持ってくるのが基本

- ① 後身頃と外袖で柄合わせをする
- ② 袖幅を測って内袖側に折り、待ち針で止めておく
- ③ 肩山と袖山をめぐって内袖側への流れもみる



決定したら、内袖山の付け側にL字のしつけをしておく

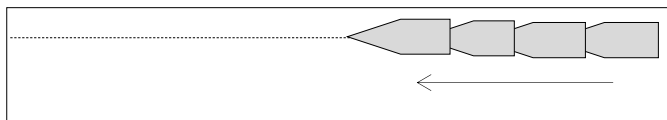
8月3週

## 鑷の使い方

### ① 平鑷

左手で生地を少し引っ張り加減にして持ち

右手でゆっくり3つ数えてからお鑷の長さ分だけずらしていく



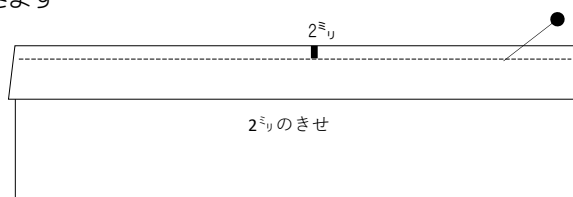
### ② きせをかける

待ち針で台に布を止めておく

次に、内側の布が浮かないように左手の親指で押さえながらかけていきます

厚みがある箇所はその分引きます

ゆっくり・じっくり  
かけましょう



### ③ 返し鑷をする

8月4週

## くけ方

袖口・振り・衿下・裾は糸を引いてきっちり絞けてよい

脇縫い・衿付けの縫い代を絞ける際は糸を少しづつ緩めながら絞ける

脇縫い・衿付けをきっちり糸を引いて絞けると、表から見た時つれたり緩んだりして見えてしまう

9月1週

## 帯どめ

9月2週

## 長襦袢

長襦袢は下着ですが、和装の中でもおしゃれ度No.1です

袖口や振りからちらりと見えるため、色合わせや柄にこだわるのも

おしゃれの楽しみといえるでしょう

長着がフォーマルの場合は淡い色の無地やぼかし

長着がおしゃれ着の場合は色物や柄物など様々なコーディネートを楽しむことができます

袖丈は長着の振りときっちり重なるようにさせることがベストです  
 長着は帯を締めると振りが持ち上がります  
 従って、着付けの仕方にもよりますが長着の袖丈-0.8cmが標準です

長着の袖丈より長襦袢の袖丈が長い場合はOKですが  
 長着の袖丈より長襦袢の袖丈が短いのはNGです  
 長襦袢の袖丈が長着のそれより短いと振りから長襦袢の袖が飛び出してしまう  
 からです

種類

関東仕立て

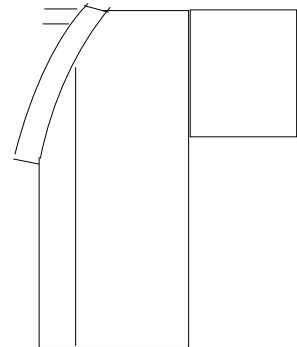
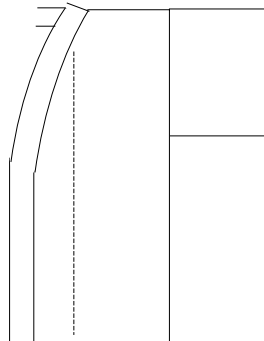
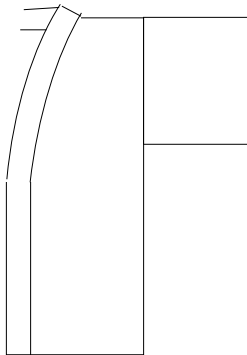
男物  
 はだけやすい

広幅仕立て

メリンス  
 背をつまみ  
 前幅で衿をつまみます

関西仕立て

田之助衿  
 教室で仕立てる  
 作り方



9月3週 長襦袢の寸法

後幅 長着と同じ  
 前幅 長着の寸法+4cm  
 着丈 冬物 身長-27  
 夏物 身長-25

絹や紗のように透けている長着は後側から足首が見えないようにするため  
 冬物の長襦袢より2cm長く仕立てます

9月4週 長襦袢の生地

正絹の場合 模様光り → 表  
 地光り → 裏

雨コートの肩すべりの場合は裏(地光り)の方を表にする場合もあります  
 コートを脱ぎ着する際に滑りをよくさせるためです

10月1週 長襦袢の袖

- 単衣 当教室では袖口を三つ折り衿けしています
- 他に、袖口は耳のままで三つ折り衿けをせずに仕立て  
洗い張りして縫い直す際に、袖口の汚れを隠すため三つ折り衿けして  
仕立てるという方法もあります
- 無双 表地も裏地も同じ生地で仕立てる裕用の袖です
- 半無双 裏地を袖口と振りにのみつける仕立て方です  
少ない生地ですみます

10月2週 長襦袢の衿

長襦袢の衿は、衿先のみ共の生地をつけ、残りはすべてシンモスを使っています  
生地が余っていてもシンモスを使います  
背の高い方等で生地が足りない場合は衿先まで全てシンモスを使います

- 理由 ① 長襦袢の生地は滑りやすい生地が多いです  
共の生地の上に半衿をかけると滑って治まりが悪くなってしまう  
ためです  
木綿のシンモスをつけるとよくなじみます
- ② 柄物や濃い色の長襦袢の上に、白い半衿をかけると透けてみえます  
半衿にシミがついているように見えてしまうこともあるため  
白のシンモスをつけます

10月3週 男物浴衣

女物と男物の違いについて

		男物長着	女物本裁ち
身丈		着丈(対丈)	身丈(おはしよりがある)
袖	振り	—	あり
	身八ツ口	—	あり
	人形	あり	—
衿		棒衿	ばち衿・広衿
繰越		なし	あり
内揚げの位置		前後で位置が違う	前後で同じ位置に揃える

10月4週 男物浴衣

着丈の測り方

首の後ろのぐりぐりから畳まで測ります

- ① 帯を締めると長着が持ち上がります
- ② 腕を上げたりすると帯の上側が持ち上がり長着に緩みができます  
それにより丁度よい着丈になります

## 男物浴衣の居敷き当てについて

### 付ける位置

揚げの位置から、裾上2~3cm上まで

胡坐をかくため、裏を出してつけます

### 衿の裏うち布

男物浴衣

衿先40~50cmにつけます

男物単衣

まるごと裏打ち布をつけます

## 当教室のテキストについて

男物浴衣のテキストには、男物高級単衣の仕立て方も並行して載せてあります

11月1週

### 軽装帯

季節の行事、ひな祭り・蛍狩り・月見等の柄を風呂敷等で仕立ててみてはいかがでしょうか

その時期しか使えませんので手軽に作れる軽装帯を利用するのはおすすめです

コットンパールを縫いつける等各自アイデアを楽しんで下さい

11月2週

### 軽装帯

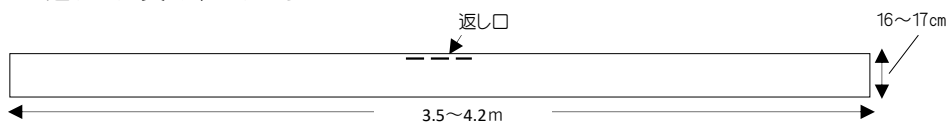
2枚目以降は風呂敷だけでなく

ベッドカバー・のれん等自分だけの軽装帯を考えて

挑戦してみてください

### 半幅帯

返し口は真ん中にします



11月3週

名古屋帯

反物の幅

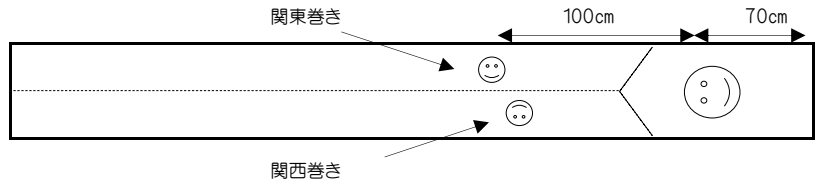
8寸 30cm かがり帯

9寸 34cm 上り幅が、30~31cmになるように仕立てます

8寸・9寸どちらも夏物・冬物があります  
長さは3.6m~3.8mくらいの上りになります

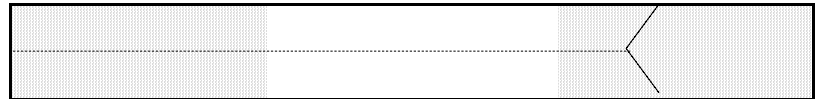
柄の置き方

ポイント柄

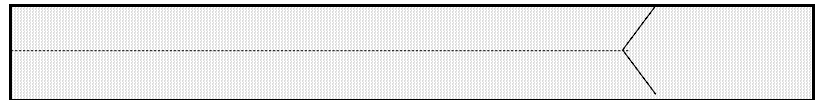


ポイント柄の場合関東巻き、関西巻きにより柄の位置が違います  
片側にしか柄がついていない場合もありますので注意しましょう

六通



全通



3.6~3.8m

12月1週

名古屋帯の仕立て方

① 名古屋仕立て

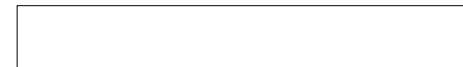


② 松葉仕立て { 袋名古屋  
京袋  
しゃれ袋



手先のみ半分折って仕立ててある

③ 開き仕立て



④ 比翼仕立て

お太鼓の両側のみ  
比翼仕立てにして  
袋帯のように見せかける仕立て方

